

雷門通りにおける社会実験の実施結果について

1 目的

浅草地区については、今後の公共空間の利活用について検証し、安全かつ快適に回遊できる歩行者空間の拡充や滞留空間の創出を段階的に進めていく。そのため、社会実験を実施し、より快適な公共空間の利活用方策を検討する。

2 実施結果

(1) 日時

令和8年1月17日（土）・18日（日）・
29日（木）・30日（金）
11時～15時（全日晴れ）
※車両通行止め時間は、11時～16時

(2) 実施箇所

雷門通り（雷門交差点～吾妻橋交差点）

(3) 実施主体

浅草地区社会実験実行委員会

(4) 実施状況



実施箇所



多くの歩行者が車道部を利用
(令和8年1月17日（土）撮影)



歩きやすい歩道
(令和8年1月17日（土）撮影)

【参考】社会実験前後の状況

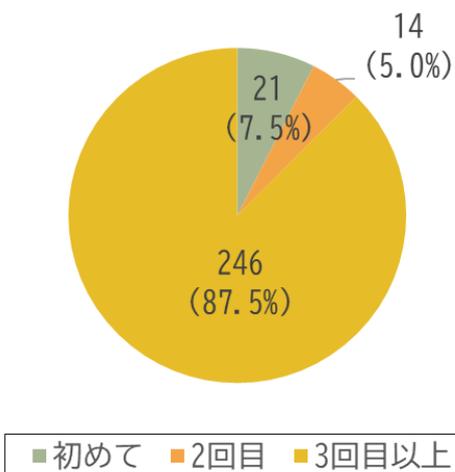


歩道の混雑状況（令和8年1月18日（日）撮影）

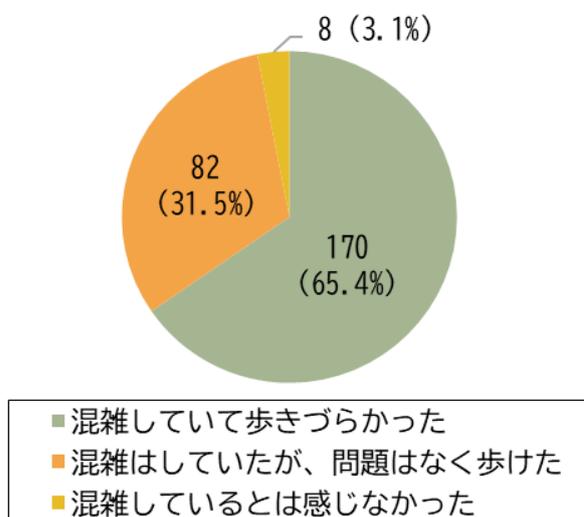
(5) アンケート調査

歩行者を対象に、今回の社会実験に対する評価や今後の取組みに関する意見等についてアンケート調査を実施した。（回答者数：281人）

① 来訪回数

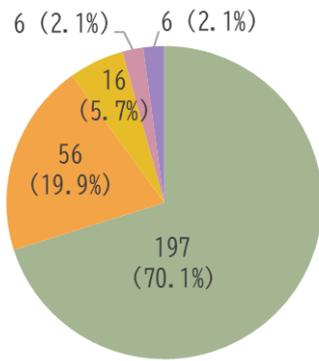


② 普段の混雑に対する印象
(来訪回数を2回目以上と回答した方のみ)



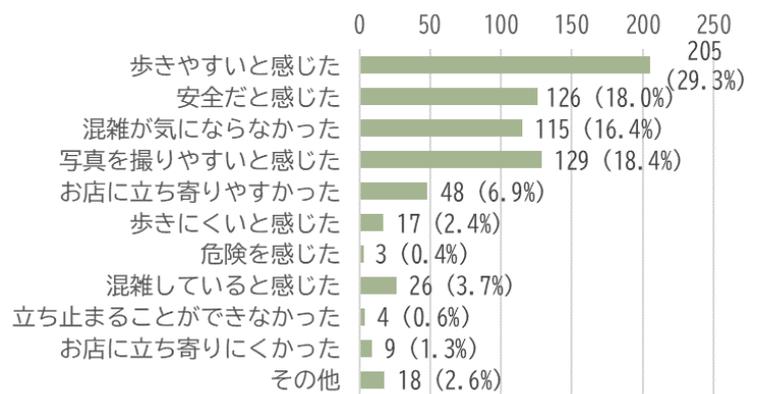
来訪回数が2回目以上であると回答した方は92.5%であった。また、来訪回数が「2回目」及び「3回目以上」と回答した方のうち、65.4%が普段の混雑に対する印象について、「混雑していて歩きづらかった」と回答している。

③社会実験に対する評価



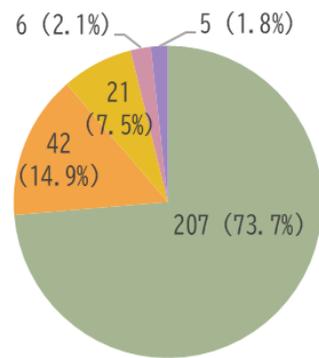
■とても良い ■良い ■普通 ■やや悪い ■悪い

④評価の理由（複数回答）



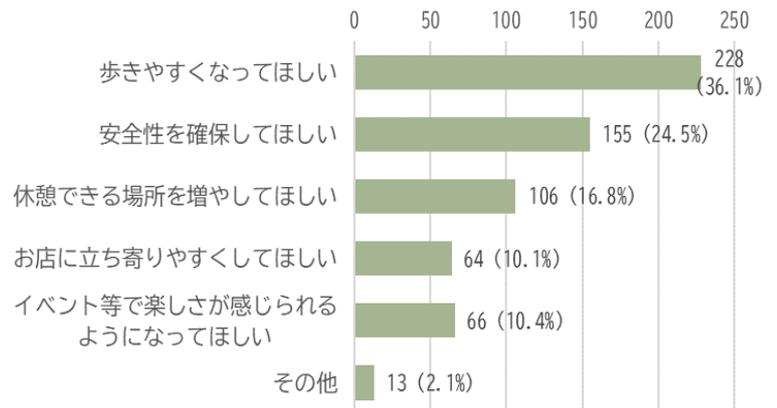
社会実験について、肯定的な評価をした方は90%であった。また、評価の理由で「歩きやすいと感じた」と回答した方は29.3%で最も多かった。

⑤社会実験の継続に対する意見



■ぜひ続けてほしい ■続けてほしい
■どちらともいえない ■あまり必要ない
■必要ない

⑥将来の雷門通りに対する意見・意向（複数回答）



社会実験の継続について、肯定的な意見をした方は88.6%であった。また、将来の雷門通りに対しては、「歩きやすくなってほしい」が36.1%で最も多かった。

(6) その他調査等

通常時と社会実験時の歩道の密度や歩行者の歩行速度、社会実験時の回遊状況についてビデオカメラを用いて調査した。また、車両通行止めに伴う周辺交通への影響を把握するため、調査員による渋滞状況調査も実施した。

なお、社会実験に対する主な問合せや意見は、社会実験の実施目的や内容、バスの迂回に関するものであった。